

令和8年度 現代の国語 シラバス

科目	現代の国語	単位数	2 単位
対象	部・年次	1・2・3部	2年次
目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	行動の確認、行動の分析 記述の確認、記述の分析	行動の確認、行動の分析 記述の確認、記述の分析	行動の観察、行動の確認 記述の点検、記述の確認

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	芥川龍之介「羅生門」(書) 中村桃子「ことばがつくる女と男」(書) 伊藤亜紗「記憶する体」(話・聞) 生活体験発表(書・話・聞)	学習内容の読解、記述、共有	ちくま現代の国語(筑摩書房) 常用漢字クリア(尚文出版) ワークシート
後期	吉川浩満「人新世における人間」(話・聞) 若林幹夫「魔術化する科学技術」(読) 隠岐さや香「幸福」の概念的変容(書) 小坂井敏晶「主体という物語」(読) 西谷修「名づけと所有」(書)		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

選定されている教材は、現代の高度な情報社会の安易な功利性に拘泥することなく、世界への根源的な問いに端を發しており、他者と遭遇するための無限の想像力へと拓かれている。いずれも、人文知が呈する深淵な思考と現代に要請される包容的な心性との融合を可能にしており、これらを用いて、粘り強く自他と向き合い、考え抜こうとする態度が評価される。また、本教科書では独自に小説教材も採用されており、さまざまな他者との邂逅や世界の交錯を経験しつつわれわれ自身を再照射する契機を与えてくれる。

令和8年度 言語文化 シラバス

科目	言語文化	単位数	3 単位
対象部・年次	1・2・3部	1年次	
目標	我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	定期考査 ワークシート 定着度テスト	定期考査 ワークシート パフォーマンス課題	振り返りシート 活動への取組

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・言語文化と近現代文・漢文《導入》 ・訓読のきまり・格言《漢文》 ・『故事成語を学ぶ』《漢文》 ・『助長』『虎の威を借る狐』《漢文》 ・『論語』《漢文》 ・『とんかつ』《現代文》 ・『雪のなまえ』《現代文》 ・生活体験発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・定着度テスト ・意見交換 ・単元の振り返り ・批評活動 ・自己の考えを表現する活動 ・他者の意見から自己を振り返る学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・新編言語文化(数研出版) ・常用漢字クリア(五訂版) ・ワークシート ・Google アプリ ・Microsoftアプリ ・Canva ・タブレット
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・言語文化と古文《導入》 ・『竹取物語』《古文》 ・『伊勢物語』《古文》 ・『宇治拾遺物語』《古文》 ・『徒然草』《古文》 ・『舟を編む』《現代文》 ・『葉桜と魔笛』《現代文》 		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

言語文化では、文章を読み、自分が考えたことや感じたことを表現し、他者と関わりながら自己の能力を深めていく授業を行います。言葉に対する捉え方を見つめ直し、社会生活に必要な言語能力を身に付けることが望めます。授業では、自分から学ぼうとする姿勢が重要です。積極的に授業に参加し、言語に関する能力を高めながら、各授業の目標を達成できるように努力しましょう。

令和8年度 文学国語 シラバス

科目	文学国語	単位数	3 単位
対象	部・年次	1・2・3 部	3 年次
目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して社会生活に必要な知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に対する理解を深め、共感的理解や創造力や表現力を育成し、言葉を通じて他者や社会に関わろうとする態度を養う。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「読むこと」「書くこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わり中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げようとしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	定期考査 定着度テスト ワークシート	定期考査 パフォーマンス課題 ワークシート	振り返りシート 活動への取組

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・「旅する本」 ・「生命は」 ・「食事」 ・生活体験発表 ・「相棒」 ・「鼻」 	授業・單元ごとの自己評価 グループワークによる 意見交換 学習内容の定着度テスト 自己の考えに関するワーク 他者の意見を踏まえた 自己改善に関するワーク	標準文学国語（第一学習社） 常用漢字クリア五訂版（尚文出版） 自作プリント Google Forms Classroom Drive Microsoft word powerpoint
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・「こころ」 ・「山月記」 ・「デューク」 ・「永訣の朝」 		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

学習内容の定着度、自身の考えの伝達、他者の意見を取り入れた自身の意見の改善など、様々な観点から評価をします。出席することが必須条件で、その上で主体的に学習活動に取り組むことが求められます。文学は、読んだ人の数だけ解釈があり、何通りもの読み方があります。豊かな読みにつながるように、叙述をもとに様々な解釈を出しあいましょう。

令和8年度 応用国語 シラバス

科目	応用国語	単位数	2 単位
対象部・年次	1・2・3部	4年次	
目標	社会人として必要な国語力を身に付け、他者とのコミュニケーションの中で他者の考えを取り入れたり批評したりする活動により、自身の考えを見つめ直し言葉がもつ価値への認識を深め、社会で通用する国語力を身に付ける態度を養う。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会人として必要な国語力を身に付け、適切に使用している。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」の各領域において、他者の考えを取り入れたり批評したりしながら、自身の考えを伝えたり深めたりしている。	自身の考えを伝達したり他者の考えを取り入れたりする活動を通して、言葉がもつ価値への認識を深め、社会で通用する国語力を身に付けようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・定着度テスト ・ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート ・活動への参加度

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・自己PR文を書き、相手に伝わりやすい声で話す。 ・新聞やインターネット記事、評論や物語を正確に読み取る。 ・記事の内容を批評し、文章にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換 ・パフォーマンス課題 ・発表と相互評価 ・考えをまとめるワーク ・単元ごとの振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・国語辞典 ・漢字辞典 ・タブレット端末 ・授業に適したアプリ
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・本に親しみ、テーマを決めてブックトークをする。 ・社会問題について、インタビュー内容を反映しながら、自身の考えをまとめる。 		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

自身の意見を記述するワークや発表、他者へのインタビューや意見文の作成など、授業内課題が評価の大部分を占めます。授業に参加して、課題にしっかりと取り組む事が求められます。教科「国語」の他の科目で行う教科書に沿って行う授業と異なり、生徒の皆さんの記述や発言、インタビューなどのパフォーマンス課題が教材となります。授業に積極的に参加し、社会人として必要な国語力やスキルを身に付けましょう。

令和8年度 漢字入門A シラバス

科目	漢字入門A	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2 部	自由選択科目
目標	漢字の基本的な知識・技能を習得し、卒業後のあらゆる場面で正しい漢字を使って表現できるようにする。また、漢字の成り立ちや部首、熟語の構成などについても学習し、漢字に興味関心が持てるようにする。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活を送る上で必要となる漢字の基本的な知識を身につけるとともに、日常のコミュニケーションに必要な語彙を増やす。	漢字の意味等を理解し、文脈に合った漢字を選択した上で、漢字を適切に使い分ける能力を身につける。学習した漢字を、文章を書く時に適切に使用できるようにする。	漢字の部首や成り立ちに関心を持ち、積極的に活用していく態度を養う。自己の漢字能力を向上させるべく努力を重ねる。
評価方法	小テスト 定期考査	授業内での成果物 (意見文、創作漢字など) 実用文書の読み解き	授業内での取組姿勢 単元末の振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	(1)漢検取得に向けた学習 ①漢検4級の演習プリント ②漢検4級の過去問演習 (2)漢字の成り立ち、部首の学習 (3)様々な文章の中での漢字の使い方	・演習プリントの実施 ・演習プリントの解説 ・小テスト ・成果物の作成(単元毎)	・自作プリント ・漢検過去問題 ・新聞、契約書等
後期	(1)漢検取得に向けた学習 ①漢検3級の演習プリント ②漢検3級の過去問演習 (2)熟語の構成や四字熟語の学習 (3)創作漢字を考える (4)意見文を書く		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業では、日本漢字能力検定(漢検)の演習プリントを中心に取り組み、定期的に小テストで理解度を確認します。自分が解けなかった問題は繰り返し練習をしましょう。また、漢字の読み書きだけでなく、部首や熟語の構成などにも関心を持ち、積極的に漢字学習に取り組むようにしてください。

令和8年度 小論文講座 シラバス

科目	小論文講座	単位数	1 単位
対象	部・年次	1・2 部	自由選択科目
目標	自分の意見や考えをまとめて適切に文章で表現する能力や、文章を的確に読み取り理解する能力を養う。現代社会の問題に興味を持ち、その内容や世論を知り、自己の考えを深める。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自分の意見や考えを伝えるための語彙力や、文章で表現するための記述力を身につける。現代社会の中で問題になっていることなどについての見識を広げる。	文章を読み、内容を的確に読み取って、自分の考えをまとめる力を身につける。自分の考えを深め、適切に文章で表現できるようになる。	自己を表現するための語彙力や表現力を身につけ、日常生活においてもその力を活用しようとする態度を養う。
評価方法	原稿用紙の使い方	小論文の内容 グループワーク	執筆した小論文の修正 單元ごとの振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	(1) 語彙力の向上 語彙学習プリント (2) 原稿用紙の使い方の学習 (3) 言語力の育成 (4) 意見文・小論文を書く	・ 語彙や文法の解説と演習 ・ 現代社会の問題に関する調べ学習 ・ 自分の意見をまとめる ・ 他者の意見を聞く ・ 他者の意見を聞いたうえで自分の意見をまとめる	・ 課題プリント
後期	(1) 漢字能力・語彙力の向上 漢字・語彙・文法学習プリント (2) 言語力の育成 (3) 現代社会の問題について考える (4) 小論文を書く	・ 小論文作成 ・ 小論文の修正 ・ 振り返りシート ・ 意見発表	

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業では、課題プリントや発表、小論文作成などをおこないます。語彙力の向上、文章を書く力の育成及び向上を目標として、授業を進めます。小論文執筆までの過程に個人ワークやグループワークなどが含まれます。そのため、授業を休むと、小論文の執筆や評価に影響します。また、個人ワークではタブレットを多用します。

令和8年度 漢字入門B シラバス

科目	漢字入門B	単位数	2 単位
対象部・年次	3 部自由選択 後期1年次		
目標	日本語の中核をなす漢字について、基礎的な知識・技能を獲得し、卒業後の様々な場面で活用できるようにする。また、漢字の部首や成り立ち、熟語の構成に関心を持たせるなど、生涯にわたって漢字に親しむ態度を養成する。		

■身につける資質・能力と、到達レベル

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会生活を送る上で必要となる漢字の基礎的な知識を身につけるとともに、日常のコミュニケーションに必要な語彙を増やす。	実際に習った漢字を使用して、新聞記事や契約書類を読み解き、作文や意見文の執筆を行えるようにする。	漢字の部首や成り立ちに関心を持ち、生涯にわたって漢字に親しみ、積極的に活用していく態度を養う。
評価方法	小テスト 定期考査	授業内での成果物 (意見文、創作漢字など) 実用文書の読み解き	授業内での取組姿勢 単元末の振り返りシート

■学習計画

	学習内容	授業の展開方法	使用教材
前期	(1)漢検取得に向けた学習 ①漢検4級・3級の演習プリント ②漢検4級・3級の過去問演習 (2)生活で使う文書の読み解き (3)作文、意見文の執筆	・演習プリントの実施 ・演習プリントの解説 ・小テスト ・成果物の作成(単元毎)	・自作プリント ・漢検過去問題 ・新聞、契約書等
後期	(1)漢検取得に向けた学習 ①漢検4級・3級の演習プリント ②漢検4級・3級の過去問演習 (2)生活で使う文書の読み解き (3)作文、意見文の執筆		

■どのように評価されるか、学習のアドバイス

授業では、日本漢字能力検定(漢検)の演習プリントを中心に取り組み、定期的に小テストで理解度をはかります。自分が解けなかった問題は繰り返し練習をしましょう。また、漢字の読み書きだけでなく、部首や熟語の構成などにも関心を持ち、積極的に漢字学習に取り組むようにしてください。